

都市のプランター ― 積層する公共空間と四季の花 ―

2020 年。都心部の緑化促進を受けて東京都千代田区有楽町に大きなグリーンパークがオープンします。世界中で危惧される都市環境問題の中、積層された大小様々な花壇の集合体は、群として大きな植物のように都市に立ち振舞います。それは都市が発展する過程で必然的に生まれた新しいビルディングタイプ。ビジネスから社会問題、アートやデザイン、ライフスタイルまで。参加者自身が中心となってディスカッションやものづくりを体験できるユニークなワークショップ・コミュニティスペース本拠地。人々の健康を維持促進する公共性を備えた施設です。



銀座の新しい緑のシンボル

光と緑の広がる新しい東京のコンプレックス



グリーンプラントに囲まれたシェアオフィス



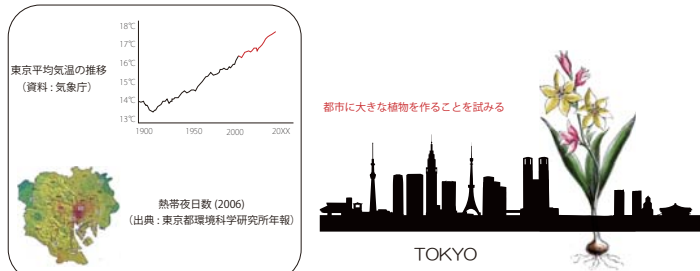
天井の高いワークショップスペース



開放的なボードルーム

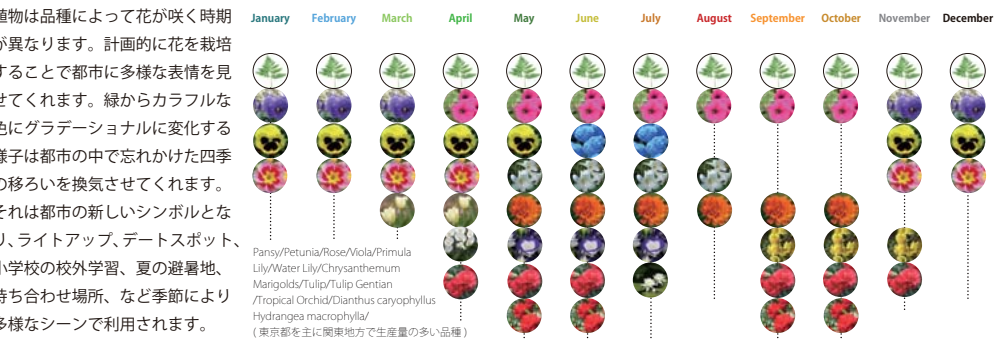
鳥たちの集まるビオトープ

東京におけるヒートアイランドの現状と対策



過去 100 年間で地球の平均気温は上昇しています。中でも東京は中小都市平均に比べ大きな幅（約 3℃）で上昇しています。今回の対象敷地はその中でもヒートアイランド現象の高温域が出現することで知られている東京駅周辺です。2020 年。私たちはそこに大きな植物のような建築を提案します。ビルの高層化。熱吸収量の増加による建物の高層化。緑地や水面の減少による蒸発散量の減少など、世界的な都市環境問題に対する提案であり同時にそのシンボルとなる建築をつくります。

四季で変わる建物の様相

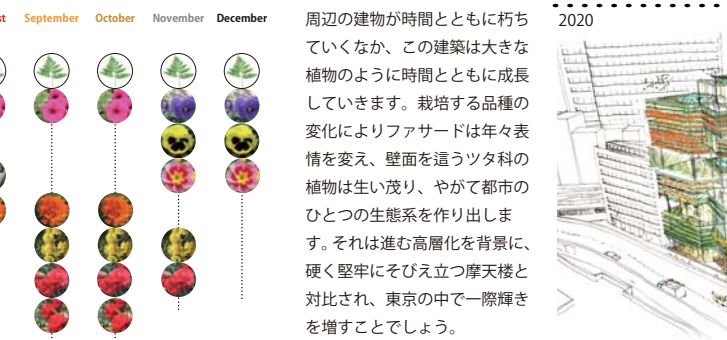


SITE(東京都千代田区有楽町)

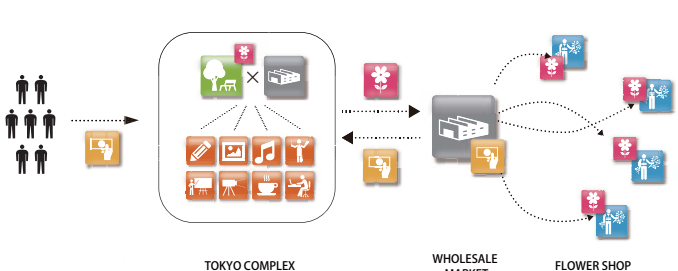


敷地は東京の中でも最も都心部に位置しています。特に浅草川沿いに発展していくこの東京駅周辺はまさに日本の中心と言えます。2020 年。オリンピック開催の都市です。東京が国際的に注目される中、ここにはありふれた商業施設としての complex ではなく、人々の健康を促進し、文化の活動が活発に起きる場こそがふさわしいと考えました。私たちの提案する tokyo complex は都市における新しい文化的活動の本拠地としての建築です。

長期スパンで考える complex の変化

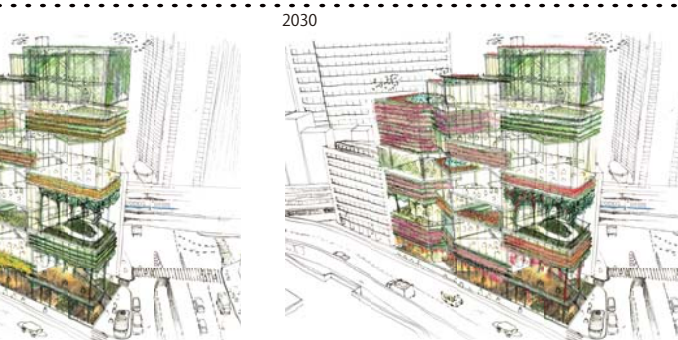


運営システム (plant×plant=complex)

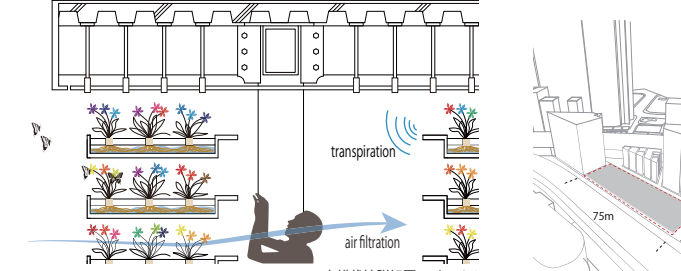


私たちは提案する tokyo complex は^{※1} 水耕栽培により植物を育て研究する会社により運営されます。会社の社屋でありながらも一方で多くの植物を内包した大きな公共空間という側面を持ち合わせます。地域の人々の集うことのできる庭のような空間を都市に提供することは、植物を通した非常に興味のある社会貢献になります。もちろん自社で収穫された植物は東京都内の卸売市場に出荷され、まちのフラワーショップの店頭に並じます。

水耕プラントによる内外のグリーン化



構成ダイアグラム

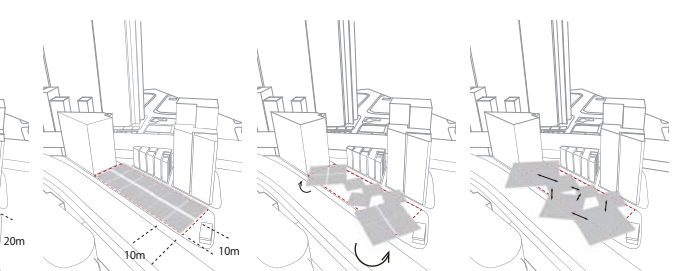


水耕栽培は土壌の代わりに養分を含んだ水で育てます。これにより室内外問わず植物を栽培することが可能になります。植物は室内の^{※1} 空気を浄化してくれ、^{※2} 冬季の乾燥防止としても作用します。また、^{※3} 植物を定期的に手入れすることが建物のメンテナンスにもつながり、建物の高寿命化を促進します。

ゾーニング計画



ゾーニング計画



最上層が自社研究室兼オフィス。地下が清浄野菜工場となっていて、その間が都市に開かれた公共性のあるゾーンとなっています。GL付近はショップ・カジュアルなトークイベントスペース（キッチン設備完備）などのフレキシブルに使用できるコミュニティスペースを設けています。アクセンビリティを考慮し、上層階はレンタルオフィスやセミナー、会議用のスペースなどの専門性の高いゾーンを計画しました。建物内部はスキップフロアにより空間は強くは分断されず、緩やかにつながる動線計画としています。最上層の自社研究室と公共性の高いゾーンは水耕栽培室が入ることで領域を分けています。

building area



building area



最上層が自社研究室兼オフィス。地下が清浄野菜工場となっていて、その間が都市に開かれた公共性のあるゾーンとなっています。GL付近はショップ・カジュアルなトークイベントスペース（キッチン設備完備）などのフレキシブルに使用できるコミュニティスペースを設けています。アクセンビリティを考慮し、上層階はレンタルオフィスやセミナー、会議用のスペースなどの専門性の高いゾーンを計画しました。建物内部はスキップフロアにより空間は強くは分断されず、緩やかにつながる動線計画としています。最上層の自社研究室と公共性の高いゾーンは水耕栽培室が入ることで領域を分けています。

building area

